

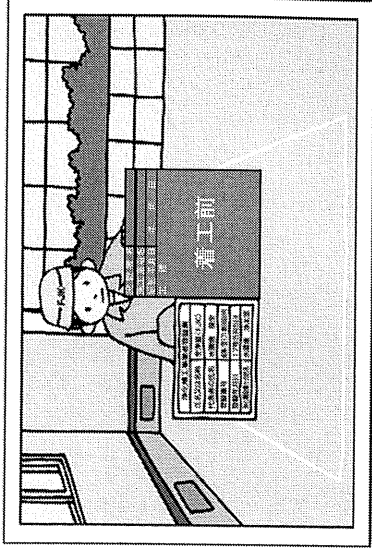
浄化槽工事写真の撮り方(例)

群馬県土木整備部下水環境課

平成22年7月28日(水)

1

工事着手前



欄外(様式第8号)

氏名又は名称	浄化槽工事業者登録票
代表者の氏名	
登録番号	知事(令)第 号
発給年月日	年 月 日
浄化槽設備士の氏名	

欄外(様式第9号)

氏名又は名称	浄化槽工事業者届出票
代表者の氏名	
届出番号	知事(令)第 号
届出年月日	年 月 日
浄化槽設備士の氏名	

工事現場記録簿

工事現場記録簿	年月日
工事現場記録簿	年月日
工事現場記録簿	年月日



写真のポイント

- ・浄化槽の設置場所を明確にし、撮影すること。(背景に工事を行う場所の周辺状況(地面、家屋等)が移っていること。)
- ・浄化槽設備士が正面を向いていること。
- ・上記欄識(8号又は9号)及び工事看板を掲げていること。³(写真で記載事項が判断できることが望ましい)

提出写真について

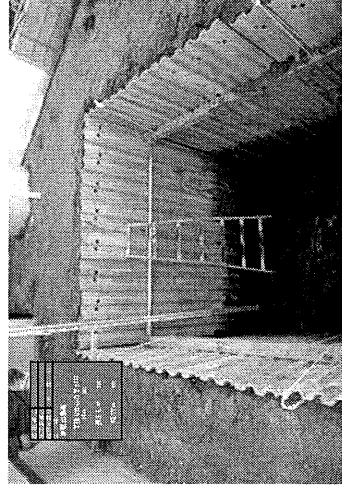


- 提出写真帳作成の参考にしてください。

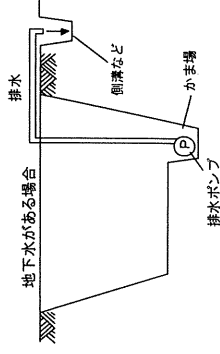
- 工所用アルバムはA4ファイルとする。
- 工所用アルバムの提出は1部とする。

2

床掘(床付け)完了



多	床掘り(バタン)がベコン家宅内掘り(おき)の状況	掘削の深さ	掘削の状況
356	掘削又は掘削土からなる地山	50cm	掘削の状況
	その他の地山	20cm未満	掘削の状況
		20cm以上50cm未満	掘削の状況
		50cm以上	掘削の状況
357	掘削又は掘削土からなる地山	掘削の深さ	掘削の状況
	掘削又は掘削土からなる地山	50cm	掘削の状況
	掘削又は掘削土からなる地山	20cm未満	掘削の状況
		20cm以上50cm未満	掘削の状況
		50cm以上	掘削の状況



工事のポイント

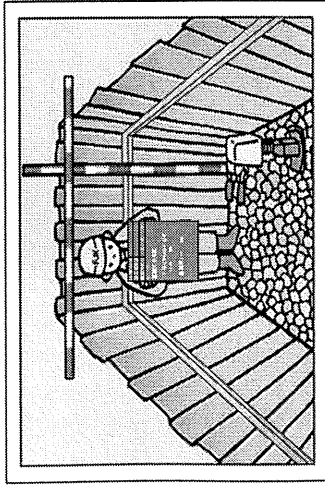
- ・土砂が崩壊しないように、関係法令等に従い、適切な法をつけるか、土留めを行うこと。
- ・掘りすぎの調整は、捨てコンクリートで行うこと。

写真のポイント

- ・スケール等で丁張り(計画高)から床付け面までの高さが確認できること。
- ・床付け面の長さ、幅が確認できること。
- ・床付け面が平に整形されていること。

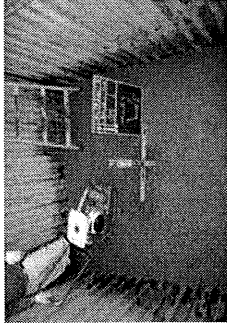
4

割栗地業(基礎碎石)完了



階	基礎	50A層下	S1-50A層下
切込基礎	切込基礎	50mm	100mm以上
コンクリート	コンクリート	50mm	50mm
コンクリート	コンクリート	150(100)mm	200mm
コンクリート	配	D10-φ200	D13-φ200
		シラブル	(ダブル)

※D13は異形鉄筋、※D10は鉄筋中心間隔

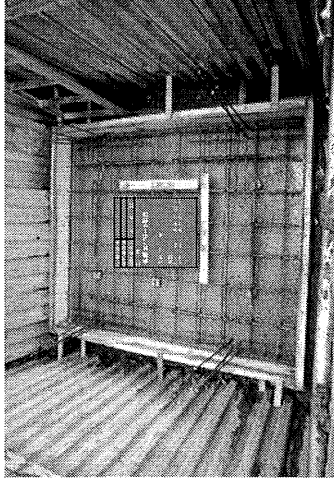


工事のポイント

- ・地盤の状況に応じて適切な地業を行うこと。
 - ・基礎碎石等の転圧を十分に行うこと。
 - ・基礎碎石等の仕上がり厚は、100mm以上になること。
- ## 写真のポイント
- ・スケール等で丁張り(計画高)から仕上り面までの高さが確認できること。
 - ・基礎碎石等の仕上がり厚さが確認できること。
 - ・ランマ等で転圧作業を行っていることが確認できること。

基礎コンクリートの配筋状況

※特殊工事(駐車場仕様)の場合は各メーカーの施工要領書等による。



階	基礎	50A層下	S1-50A層下
切込基礎	切込基礎	100mm	150mm以上
コンクリート	コンクリート	50mm	50mm
コンクリート	コンクリート	150(100)mm	200mm
コンクリート	配	D10-φ200	D13-φ200
		シラブル	(ダブル)

※D13は異形鉄筋、※D10は鉄筋中心間隔

※基礎コンクリートの厚さ
・個人設置型：100mm以上
・中層設置型：150mm以上

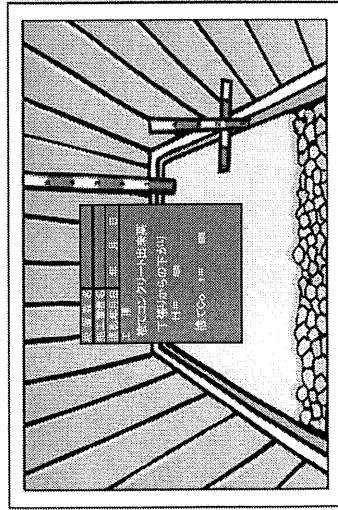
工事のポイント

- ・基礎コンクリートの広さは浄化槽外形寸法以上とすること。
- ・基礎コンクリートの厚さは100mm以上を確保する型枠を組み立てること。
- ・鉄筋を所定の間隔(D10-φ200)以上で組み立てること。
- ・十分な養生期間を確保すること。

写真のポイント

- ・型枠の高さがスケール等で確認できること。
- ・鉄筋の間隔がスケール等で確認できること。
- ・スペーサーの設置が確認できること。

捨てコンクリート完了



階	基礎	50A層下	S1-50A層下
切込基礎	切込基礎	100mm	150mm
コンクリート	コンクリート	150(100)mm	200mm
コンクリート	配	D10-φ200	D13-φ200
		シラブル	(ダブル)

※D13は異形鉄筋、※D10は鉄筋中心間隔

工事のポイント

- ・捨てコンクリートの厚みは50mm以上とし、所定の厚さに仕上げること。
 - ・十分な養生期間を確保すること。
- ## 写真のポイント
- ・スケール等で丁張り(計画高)から仕上り面までの高さが確認できること。
 - ・捨てコンクリートの仕上がり厚さが確認できること。

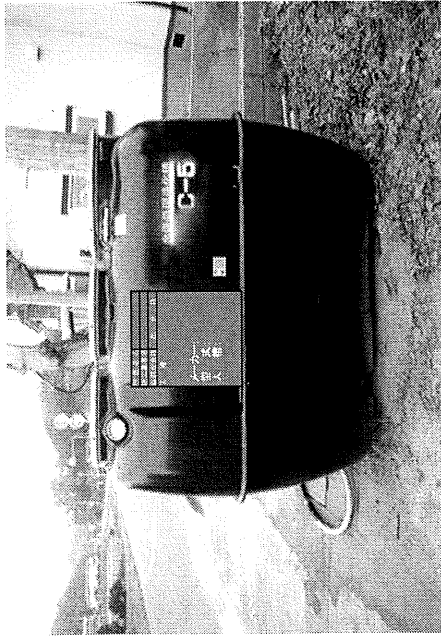
基礎コンクリート完了



写真のポイント

- ・スケール等で丁張り(計画高)から仕上り面までの高さが確認できること。
- ・基礎コンクリートの仕上がり長さ、幅、厚さが確認できること。

浄化槽本体の搬入状況



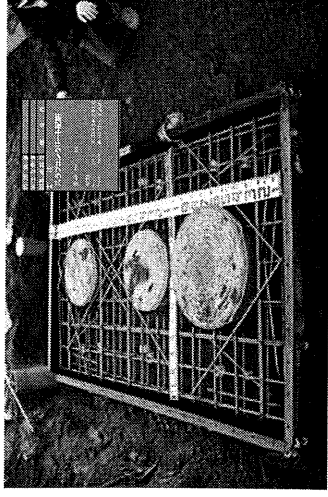
写真のポイント

- ・現場への浄化槽搬入状況が確認できること。
- ・本体に明記されているメーカー、型式、人槽等が確認できること。

9

上部スラブコンクリートの配筋状況

※特殊工事（駐車場仕様）の場合は各メーカーの施工要領書等による。



工事のポイント

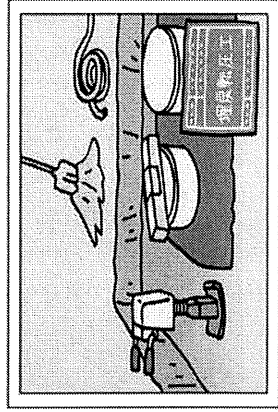
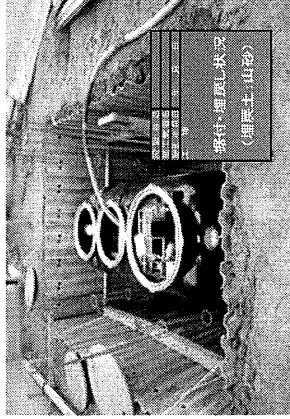
- ・スラブコンクリートの厚さ100mm以上を確保する型枠を組み立てること。
- ・鉄筋を所定の間隔(D10-@200)以上で組み立てること。
- ・仕上がり面には水勾配をつけること。
- ・十分な養生期間を確保すること。

写真のポイント

- ・型枠の高さがスケール等で確認できること。
- ・鉄筋の間隔がスケール等で確認できること。
- ・スベーターの設置が確認できること。

11

浄化槽の据付・埋戻し状況



※水圧器、スケール、ホース、つき餅・ラシマー等、埋戻し土砂が寄っていること。

工事のポイント

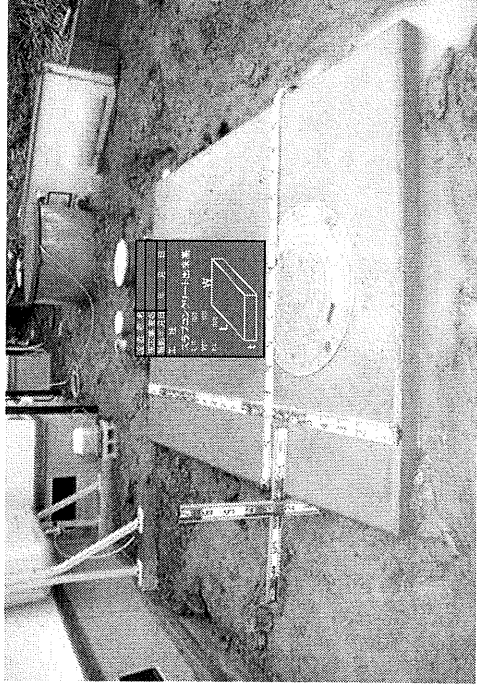
- ・埋戻し材料は良質土(小石等が混入していない土砂)、山砂とすること。

写真のポイント

- ・埋戻し前(中)の水張り状況が確認できること。
- ・埋戻し状況は、水平を確認しながらの作業が確認できること。
- ・埋戻し作業は、良質土(山砂)で水締め、機械転圧が確認できること。
- ・埋戻しの一層の厚さをスケール等で確認できること。

10

上部スラブコンクリートの完成



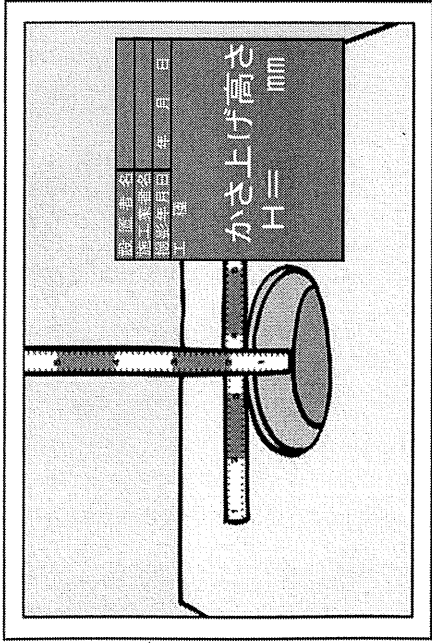
写真のポイント

- ・スラブコンクリートの仕上がり長さ、幅、厚さが確認できること。

12

マンホール蓋の嵩上げ状況

(嵩上げが必要な場合のみ)

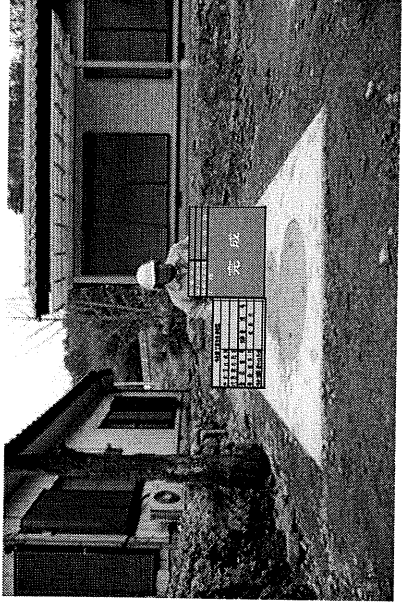


写真のポイント

- ・スケール等で嵩上げ高さが確認できること。(嵩上げ高さは、30mm以内であること)

13

完成写真



工事のポイント

- ・残土処理や後片付けが適正に行われていること。

写真のポイント

- ・着手前写真の浄化槽設置場所と同一場所であることが確認できること。
- ・浄化槽の上部及び周辺状況から工事が完了していることが確認できること。
- ・工事の竣工確認を行った浄化槽設備士が写っていること。
- ・標識(8号又は9号)及び工事看板を掲げていること。(写真で記載事項が判断できることが望ましい)

15

その他工種の写真について

- 駐車場仕様にする場合
 - ・各メーカーの施工要領書、仕様書、構造図、配筋図等により工事が適切に行われたことが確認できる写真
- ポンプアップが必要な場合
 - ・2台以上のポンプが設置されていることが確認できる写真
- マンホール蓋の嵩上げ高さが30mmを超える場合
 - ・各メーカーの施工要領書、仕様書、構造図、配筋図等により工事が適切に行われたことが確認できる写真
- 単独処理浄化槽又はくみ取り槽を撤去又は再利用する場合
 - ・撤去又は再利用の工事が適切に行われたことが確認できる写真
(単独処理浄化槽(少取り槽)の埋設状況、単独処理浄化槽(少取り槽)撤去後の状況、撤去物を搭載した運搬車両(登録ナンバー、産業廃棄物収集運搬業者の会社名、許可番号等の車体表示がわかるもの)、単独処理浄化槽の改蓋後の状況)
- その他特殊な工事を実施する場合
 - ・必要となる写真を各市町村担当者を確認すること。

14